

むさしの市議会だより

ギカイのリアル
お届けします

No.405
令和8(2026)年8月1日号

CONTENTS

- 一般質問（議員から市への質問・提言）……2・3面
- 本会議における審議結果……4面
- 新しい常任委員会委員等が決まりました……4面
- 陳情審議結果……4面
- 中学生議会の傍聴ができます……4面

発行：武蔵野市議会
<https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>



令和8年第1回市議会臨時会・第2回市議会定例会

議案をPick up!

5月11日から同月12日までの会期2日間で開かれた第1回臨時会では、吉祥寺南町コミュニティセンター解体工事請負契約など5件の市長提出議案を可決しました。

また、第2回定例会を6月9日から同月25日まで開催し、20人の議員による一般質問を行いました。議案では、武蔵野市議会議員及び武蔵野市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例など20件の市長提出議案を可決しました。

一般会計補正予算及び水道事業会計補正予算を可決

物価高騰に引き続き対応し 水道基本料金を4か月分無償化

5月11日からの各常任委員会での審査を経て、同月12日の臨時会本会議において、「令和8年度武蔵野市一般会計補正予算(第1回)」及び「令和8年度武蔵野市水道事業会計補正予算(第2回)」を全会一致で可決しました。

一般会計の補正は、物価高騰対応として、水道の基本料金を4か月間無償とすることに必要な財源措置を行うものです。

水道事業会計の補正は、東京都からの基本料金無償臨時特別交付金の交付に伴い、一般会計から繰り入れ増額するものです。



吉祥寺南町コミュニティセンター解体工事請負契約を可決

5月11日の総務委員会での審査を経て、同月12日の臨時会本会議において、「吉祥寺南町コミュニティセンター解体工事請負契約」を全会一致で可決しました。

本契約は、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に該当する随意契約で、その内容は東京巨樹の会による新病院建設に必要な用地を提供するために、旧吉祥寺南町コミュニティセンターを解体、撤去し、更地とするものです。

なお、契約金額は2億7,555万円で、工期は議決の日の翌日から令和9年5月31日までの予定です。

一般会計補正予算を可決

境南ふれあい広場公園改修工事費の増加等に対応

6月17日からの各常任委員会での審査を経て、同月25日の定例会本会議において、「令和8年度武蔵野市一般会計補正予算(第2回)」を全会一致で可決しました。

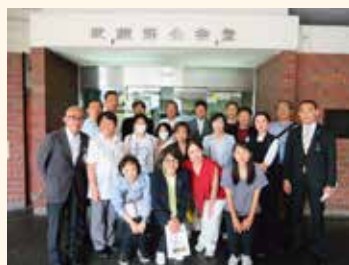
今回の補正予算は、歳入・歳出それぞれ3,658万1,000円を減額し、総額を946億4,658万3,000円とするものです。

主な内容は、労務費増・資材高騰の影響により、武蔵野プレイス前の境南ふれあい広場公園改修工事費が1億5,000万円以上となることが見込まれ、改めて議会での議決を経る必要が生じたため、新たな工期が令和9年度に及び、令和8年度の支出は前払い金相当額のみとなることから、差額分を減額し、新たに債務負担行為を設定するものです。

武蔵野公会堂の現状を確認し 今後について協議しました

総務委員会 行政視察

日時 令和8年5月26日（火曜日）
テーマ 武蔵野公会堂の現状について
内容 武蔵野公会堂改修工事入札中止を受け、今後の施設利用や改修方針を検討・協議するため施設の劣化状況を把握しました。



武蔵野公会堂

全員協議会

日時 令和8年7月9日（木曜日）
内容 武蔵野公会堂の当面の方向性の検討状況について、改修を含めた複数の選択肢が示され、協議を行いました。

当日の様子は市議会ホームページを御覧ください。



外環道路特別委員会 行政視察報告 令和8年5月22日（金曜日）

テーマ 東名側本線トンネル工事現場及び事業の進捗状況等について
内容 東京外かく環状道路の現状に対する認識と理解を深めるため、事業者から詳細を伺いました。



東京外かく環状道路
東名側本線トンネル工事現場

委員会視察報告の詳細については、市議会ホームページで御覧いただけます。3面も御覧ください。



Q

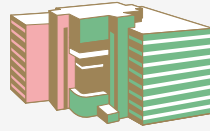
一般質問 ってなに？

A

議員から市への質問・提言です！

第2回定例会では6月9日、11日、12日に20名の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、8月下旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー）、又は武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第2回定例会分は8月27日登録予定）、インターネット議会中継で御覧いただけます。



※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

中東情勢を受けた 物価高や資材不足への 市の対応を

山本 ひとみ 議員



- Qホルムズ海峡の事実上の閉鎖があるが①製品の確保、価格の安定のため、市の対応はあるのか②取りやめる事業、当面見合わせる事業はあるのか。
- A①市全体の物品調達に若干影響が出始めており、動向を注視し価格面を含め適正に対応していく②当面見合わせる事業は公会堂以外にはない。
- Q東京都予算で障害者が利用している事業に対する時間延長に使える補助金ができたが市の支援は。
- A事業者へのアンケートを準備中で、事業者の状況や必要な支援等を検討し課題を整理する予定だ。
- Q吉祥寺北町の市営プールは長年10円プールとして市民に親しまれてきたため、屋外プールの廃止には反対だ。修繕は試算的に難しいということか。
- Aまだ改修費用を試算しておらず今後行っていく。

武蔵野市自殺総合対策 計画について

下田 ひろき 議員



- Q子どもの自殺対策強化に向け、自治体で新たな協議会の設置が可能となったが今後の取組予定は。
- A新たな協議会を設置する予定はないが、既存の子育て支援ネットワーク会議を活用し、希死願望のある子ども等への対策を検討していきたい。
- Q武蔵野市の自殺者数や自殺死亡率^{*1}等の現状は。
- A令和6年の自殺者数は22名で自殺死亡率は14.9である。自殺総合対策計画策定時データを分析すると40歳代が最も多く、次いで20歳代が多い。
- QSNSやAIによる誤情報や不適切な情報への接触など、デジタル社会特有の新たなリスクが指摘されている。特に若年層への取組予定を伺う。
- A学校や青少年向けイベント等で周知啓発に努めるほか、AI等との付き合い方を示していきたい。

送迎保育ステーション 事業の是非を伺う

東山 あきお 議員



- Q住まいや勤務地と保育所が離れているといった課題解決のため、送迎保育ステーション事業を展開する自治体がある。本市における実現可能性は。
- A施設を設けるためには、駅近物件の確保、バスの待機・乗降スペースの確保、児童が安全にバスを待つために滞留できる場所の確保などが必要となる。乗降スペースは、預け先の保育園側にも必要となるため、住宅街に建つ保育園が多い本市では実現に向けたハードルはかなり高い。
- Qこれまで本市では細かい議論はされていないが、本事業の現時点での必要性について所見を伺う。
- A事業目的の一つは立地要因での保育施設の空き枠の有効活用。現在待機児童ゼロ人を継続できており、速やかに実施する必要はないと考える。

市民生活における安全と 市民資産の管理に ついて問う

道場 ひでのり 議員



- Q物価高の中、市民や市内事業者へ支援の検討は。
- A独自の支援策を講じる必要性は認識している。引き続き国等の動向を注視し、市内経済団体と情報共有しつつ効果的な支援策の在り方等検討する。
- Q本市は自治会等が僅少だが、防犯カメラの設置においてどのような問題が生じているか伺う。
- A防犯カメラの設置等に対する市の補助は、団体からの申請に基づくため、設置数に影響がある。今後も警察と連携し必要に応じて設置していく。
- Q本町三丁目公園の身体障害者専用駐車場に関し、利用状況の管理と費用対効果の検証は。
- A一般車の駐車は問題であり、実態を把握し、障害のある方が利用しやすくしていきたい。いただいた提案を参考に、今後庁内で対策を協議したい。

国民保護計画、ヘルプ マーク普及、エスカレー ターの安全を問う

藪原 太郎 議員



- Q地下シェルターの整備について、①本市の地下施設の人口カバー率を伺う②政府は昼間人口100%のカバー率を視野に入れているが、本市で民間地下施設を活用することについて見解は。
- A①10.7%②地下駐車場や大型商業施設などを緊急一時避難施設として活用する可能性はある。
- Qヘルプマークは、必要とする人へはもちろん、存在や意味を全ての市民に周知すべきではないか。
- A御指摘のとおりである。利用者だけでなく、周囲の市民がヘルプマークを見たときにどう行動するか、理解を深めるための周知を進めていきたい。
- Qエスカレーターの歩行利用が、高齢者や障害のある方などに与える影響について見解を伺う。
- A転倒し、怪我や障害を負うリスクが考えられる。

動物愛護政策、学校に おける安全対策を問う

山崎 たかし 議員



- Q動物愛護政策に関し①動物愛護週間の取組をさらに充実しては②イベントとして市内の公園や屋内施設を活用し、ドッグランを設置できないか。
- A①犬と猫の譲渡会やセミナー等の開催を通じ、動物愛護思想の普及啓発に努めている。関係機関等と連携し、より効率的で市民参加の促進となる事業の在り方を具体的に検討していく②市の啓発や地域課題解決が目的のイベント等が動物愛護の啓発につながるのであれば、様々な主体と連携しドッグランの一時的な設置の可能性を検討したい。
- Q学校の安全対策に関し、不審者対応や事故発生時の、教職員による連絡体制強化への認識は。
- A教育委員会と各校が市長部局と協議を行いつつ、適宜必要な予算措置及び整備を行っていききたい。

中学校統合は 長期計画策定での検討を

菅 源太郎 議員



- Q公会堂の改修方針を再検討するとのことだが①改築を含めて白紙でよいのか②基本設計案に沿って改修し、耐用年数80年を超えて供用する考えは③閉館中の帰宅困難者一時滞在施設の代替は。
- A①あらゆる可能性を検討する②80年を超えた供用を想定した改修は検討していない③他の民間施設と新たに協定を結ぶなど滞在施設の拡充を図る。
- Q中学校統合の議論の難しさを考えると、長期計画策定プロセスでの検討が必要だ。学校施設整備基本計画を後ろ倒して、第七期長期計画と第3期公共施設等総合管理計画と同時に策定しては。
- A七長の財政シミュレーションに公共計画が必要だが、学校計画がないと積算できず、七長に反映できないため、学校計画の同時期策定は難しい。

学校統合についての 市民意見反映の議論、 水泳授業の安全強化を

三島 杉子 議員



- Q学校統合について、市民意見を受け止め課題を具体的に議論し、計画への反映を求めるが見解は。
- A大規模校の視察や課題把握を行い、審議会での市民の意見や懸念を一つ一つ議論していただきたい。
- Q救命救急講習受講など水泳指導補助員の資格要件の根拠となる要綱の整備を求めるが見解を伺う。
- A仕様書に泳力や救命救急講習受講の規定は明記しているが、根拠となる要綱等の整備に関しては教育委員会を検討し対策を取っていききたい。
- Q都の補助金を活用し、障がい者の18歳以降の居場所拡大の具体的促進を求めるが見解を伺う。
- A18歳以降の居場所確保は重要である。対象施設へのアンケート結果を踏まえ、策定中の障害者福祉計画等での検討を通じて活用方法を研究したい。

学校の個人情報保護、 高齢者の耳の健診、 ネズミ被害対策を問う

きくち 由美子 議員



- Q教育委員会としての個人情報保護の取組を伺う。
- A小・中学校情報セキュリティ実施手順を配布し、各校で取扱いを留意するよう伝えている。子どもの意欲等につながる情報公開は、基準に抵触しない範囲で各校の判断に任せるのが望ましい。
- Q高齢者の耳の健康診査について、受診券の送付と受診費助成の今後の方針を伺う。
- A受診券送付は受診を促し、加齢性難聴の早期発見・早期治療により認知症やフレイル予防につながる。市民ニーズや費用対効果等を研究したい。
- Q空き家や解体工事等のネズミ対策の取組を伺う。
- A管理不全の空き家等について、市から建物所有者に適正管理を求めている。被害低減につながる対策や周知を今後も継続的に取り組んでいく。

公会堂改修の方針と部活動 及びセカンドスクール への取組を伺う

宮代 一利 議員



- Q 公会堂改修の入札中止は、過度な投資と判断したためとのことだが、詳細な説明を求める。
- A 中東情勢の影響による事業費の上昇、工事期間の延長に伴い、残存使用期間のコスト上昇の可能性が高いことから、市長として中止を決断した。
- Q 今後の公会堂改修の方向性について伺う。
- A あらゆる可能性を検討し、市議会との議論や市民説明を行い、最善の方針決定を目指したい。
- Q 持続可能な部活動について市の見解は。
- A 子どもたちの声を聞き、教育活動の一環として学校と指導員の連携を今後も続ける必要がある。
- Q セカンドスクールのリスク管理について伺う。
- A 教育課程として全ての生徒が対象となる活動であり、安全管理、安全確保の責任が求められる。

現場を大切にする教育 活動支援と日本版DBS 等への対応を求める

本多 夏帆 議員



- Q スクールバスのバス停には屋根がなく、暑さ対策として日陰をつくる工夫を求めるが、見解は。
- A 現在はバスの運転間隔を短くするといった対応をしているが、子どもの健康を守るという観点に立って日陰をつくることを含め検討していきたい。
- Q 台風など、非常変災時に学校を臨時休業等とする際、直前の判断では現場の負担となる。見解は。
- A 課題として受け止め、担当課や校長会等での協議を踏まえ、対応について検討したい。
- Q 日本版DBS^{※2}の今年12月からの運用開始に伴い採用の見直しが必要になるが、市の対応は。
- A 市が所管している施設等は今年12月から正式採用となるため、今から準備して対応にあたりたい。

日本版DBSへ市の 対応と仙川の河川維持水 確保について質す

川名 ゆうじ 議員



- Q 本年12月から施行される日本版DBS^{※2}の①対象範囲の想定は②制度には限界があるため、市として今以上の予防的対策を拡充すべきではないか。
- A ①教諭や保育士は全員が対象である。職種の一部が対象となるものは、業務状況を見て、個別判断が必要であると考え②多様な相談先を用意し、子どもや保護者等が信頼できる相手に安心して相談できるようしていく。
- Q サンヴァリエ桜堤の団地内緑地施設が環境省の自然共生サイトの認定を受けたが、河川維持水が確保されているか。境浄水場から供給される河川維持水の維持、増量を都へ働きかけるべきでは。
- A 河川維持水の減少を認識し、引き続き東京都水道局へ河川維持水の確保を要望し、協議したい。

市民の命と安全を守る 信頼に基づく自治体間の 連携を深めよ

深田 貴美子 議員



- Q 市内で発生した民泊火災を受け、①条例制定権や指導監督の権限移譲がない本市の安全対策は②特別区21区長は民泊見直しの要望書を自民党に提出した。多摩の市長会からも要望すべきでは。
- A ①今後も都と迅速な連携・情報共有に務める②庁内で議論し、必要性があれば要望していきたい。
- Q 吉祥寺地域医療再生について、①都の病床配分休止通知を受け、令和9年4月の着工までに協議は整うか②政府統計で外来患者数・病床利用率が減少しているが本市の北多摩南部医療圏の展望は。
- A ①病床配分への配慮を都知事に直接求めている②今後施設の老朽化も課題となるが、新たに東京吉祥寺南病院が開設され、北多摩南部医療圏の医療適正化と持続可能性が高まると認識している。

更年期障害の周知と、 介護保険サービス外の 院内介助へ独自支援を

蔵野 恵美子 議員



- Q 更年期障害による経済的・社会的損失は大きい。市民・企業・庁内・教育等、多方面に向けた更年期障害への理解促進の取組が必要ではないか。
- A 学校・職場への広報等、市全体の認識のために様々な媒体を使い宣伝する等、研究していきたい。
- Q 院内介助をケアマネジャーが担っている実態があり、多大な負担だ。市独自の支援が必要では。
- A 介護保険事業計画策定の中で対応策を検討し、必要な記載を行った上で有効な支援を進めたい。
- Q 昨今の強盗事件が主に住宅地で起こっていることを考えれば、市の防犯カメラの設置を、繁華街だけではなく住宅地にも増やすべきではないか。
- A 市の住まいの防犯対策補助事業の補助金を使い、自助の観点で防犯カメラを設置いただきたい。

自然減を抑える子育て・ 高齢者への支援と 自転車新ルールを問う

浜田 けい子 議員



- Q 低出生体重児とその家族へ、市独自に搾乳器・母乳パックの購入費用助成を求めるが、見解は。
- A ムーベビ事業など様々な支援を展開しつつ、今後、推移も踏まえ必要が出てくれば検討する。
- Q ドナーミルクを必要とする赤ちゃんに、安心して届く体制の構築を検討すべきでは。
- A 医療機関や利用者のニーズ等を聞き、研究する。
- Q 健康寿命の延伸のため、満66歳以上の高齢者の肺炎球菌結合型ワクチン独自助成を実施しては。
- A ワクチン接種による肺炎予防の効果は認識している。国や他自治体の動向を注視する。
- Q 自転車新ルールの理解に差が出る層への対応は。
- A 子育て世代、高齢者、外国人の方への直接的な周知も含め、啓発活動に取り組んでいく。

健全な行政・議会の実現に 向け、ハラスメント 防止条例制定を求む

小林 まさよし 議員



- Q 行政や議会においてハラスメントが生じた場合、組織運営にどのような支障があるか見解を伺う。
- A 職員のモチベーションが下がることなどから、市民サービスの低下に直結すると考える。
- Q 他自治体の先進的なハラスメント防止条例と比べ、本市の制度は時代に即しておらず、対象や範囲等も不完全だ。市民福祉増進のためにも、包括的な条例制定が必要と考えるがいかがか。
- A 今ある要綱等で一定程度機能しているので、現時点ではそのような考えはない。
- Q 近年の酷暑を踏まえ、子どもを守る熱中症対策や地域の防災インフラ強化という観点から、学校に自動販売機を設置すべきと考えるが市の見解は。
- A 現在導入の予定はないが研究を深めていきたい。

中東情勢に伴う物価高 から、市民生活を守る 対策を求める

本間 まさよ 議員



- Q イラン情勢による供給不足、価格高騰に関し①地域経済や市民への影響について認識は②相談窓口の開設・周知や全庁的な体制を強化すべきでは。
- A ①公共施設整備、中小企業の経営、市民の家計に大きな負担が生じる可能性があるとして認識している②国や東京都、他自治体の支援策の状況も注視しながら、市として必要な支援について、実施体制も含め、全庁横断的に検討を進めていく。
- Q 昨今の住宅価格高騰や家賃上昇に関し①市の認識は②国や自治体家が家賃を一部補助する家賃低廉化補助制度の活用を求めるが見解は。
- A ①民営借家の家賃を平成30年と令和5年で比較すると市では約9%上昇しており上昇傾向にある②対象の住宅が少なく制度の活用は考えていない。

性暴力被害者に 寄り添う、切れ目ない 支援体制を求める

さこう もみ 議員



- Q 性犯罪・性暴力被害者が被害届の有無にかかわらず、緊急避妊薬や性感染症検査の費用助成を受けられる制度を、本市でも導入すべきでは。
- A 世田谷区の助成制度は把握している。今後の検討課題と考え、他自治体の状況を注視していく。
- Q 性暴力被害は相談相手との関係性が重要で、男性や性的マイノリティの被害者も相談しやすいよう相談員を選べる体制を整えるべきでは。
- A 犯罪被害者支援は市民活動推進課が窓口だ。相談員の構成も含め、相談しやすい体制を研究する。
- Q 熱中症対策として、信号待ちの日よけパラソルやシェードの設置を本市でも導入できないか。
- A 公道への設置は法的課題があり、公開空地の適地もないが、緑陰空間の創出等を検討していく。

市民意見を考慮した 市営プールの更新等を 求める

橋本 しげき 議員



- Q 市営プール更新に関し、屋外プールの扱いやプールレーン増設など、設計段階でどのように市民理解を得ながら取り組むのか。
- A 令和8年度から9年度に策定する基本設計・実施設計の中で、市民の意見を踏まえ検討していく。
- Q 次期介護保険事業計画について、①介護施設整備の検討予定は②介護サービスの水準を下げないことを求めるが見解は。
- A ①適切な規模での施設整備の検討を行う②サービスの質・量ともに低下しないよう努める。
- Q 市立図書館について、開館日増加や書庫内図書提供準備完了の案内表示等を求めるが見解は。
- A 次期図書館基本計画改定の中で、利用者等のニーズや他自治体の事例を踏まえ検討・研究する。

文教委員会 行政視察報告

令和8年4月27日(月曜日)

- テーマ 市立中学校の活動や施設等について
- 内容 第二期武蔵野市学校施設整備基本計画の策定に際し、市立中学校(全6校のうち、比較的学級数の多い学校と少ない学校)における普段の活動や施設の状況等の実態を伺いました。



武蔵野市立第四中学校及び武蔵野市立第六中学校

永年勤続議員表彰

5月27日開催の第102回全国市議会議長会定期総会において、全国市議会議長会より永年勤続議員として以下の議員が表彰され、その伝達式が6月9日の本会議において行われました。

●35年以上勤続 本間 まさよ
深沢 達也

●15年以上勤続 蔵野 恵美子

※1 人口10万人当たりの自殺死者数

※2 教育・保育の場における、子どもへの性暴力を防ぎ、子どもの心と身体を守るための法律。いわゆる「こども性暴力防止法」

本会議における 審議結果



▲本会議における詳細な賛否結果についてはこちら

○…賛成 ×…反対 議…議長のため採決に加わらなかった
欠…欠席 退…退席 除…除斥
【会派略語】立憲:立憲民主ネット 自民:自由民主・市民クラブ
公明:市議会公明党 共産:日本共産党武蔵野市議団
維新:日本維新の会武蔵野市議団 フは:ワクワクはたらく
無む:無所属むさしの - :会派に属さない議員

賛否が分かれたもの		立憲										自民		公明		共産		維新	フは	無む	-	-	賛成	反対	議決結果					
番号	議案等の名称	菅源太郎	藪原太郎	蔵野恵美子	西園寺みきこ	川名ゆうじ	深沢達也	道場ひでのり	さくち由美子	木崎剛	山崎たかし	与座武	大野あつ子	浜田けい子	落合勝利	橋本しげき	三島杉子	本間まさよ	深田貴美子	東山あきお	宮代一利	本多夏帆				さこうもみ	山本ひとみ	小林まさよし	下田ひろき	
陳受8第3号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	2	22	不採択
陳受8第5号	武蔵野市福祉資金貸付条例の運用停止を解除し、資産はあっても資金のない人が在宅で生涯暮らすことができる、ウエルビーイング実現を求める陳情	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	退	×	11	12	不採択

全会一致となったもの		議決結果
番号	議案等の名称	
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて (武蔵野市市税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて (武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認
議案第38号	吉祥寺南町コミュニティセンター解体工事請負契約	可決
議案第39号	令和8年度武蔵野市一般会計補正予算(第1回)	可決
議案第40号	令和8年度武蔵野市水道事業会計補正予算(第1回)	可決
議案第41号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(井口孝一氏の任命)(※)	同意
議案第42号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(榎本功氏の任命)(※)	同意
議案第43号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(大谷壽子氏の再任)(※)	同意
議案第44号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(北沢俊春氏の再任)(※)	同意
議案第45号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(後藤幸治氏の再任)(※)	同意
議案第46号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(高橋米治氏の再任)(※)	同意
議案第47号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(高橋億吉氏の任命)(※)	同意
議案第48号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(田中茂氏の任命)(※)	同意

全会一致となったもの		議決結果
番号	議案等の名称	
議案第49号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(田中友希夫氏の任命)(※)	同意
議案第50号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(土屋美恵子氏の再任)(※)	同意
議案第51号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(中村健二氏の再任)(※)	同意
議案第52号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(中村勉氏の任命)(※)	同意
議案第53号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(森田茂紀氏の再任)(※)	同意
議案第54号	武蔵野市農業委員会委員の任命の同意について(吉野憲二氏の再任)(※)	同意
議案第55号	武蔵野市議会議員及び武蔵野市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第56号	武蔵野市市税条例等の一部を改正する条例	可決
議案第57号	令和8年度武蔵野市一般会計補正予算(第2回)	可決
議案第58号	武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決
議案第59号	物損事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について	可決
議案第60号	市道第17号線電線共同溝整備工事請負契約	可決
陳受8第6号	地域生活支援事業における「移動支援事業」及び「日中一時支援事業」の報酬引上げに関する陳情	採択

(※) 議案第41号から第54号までの採決の際は、欠席した議員がいました。

新しい常任委員会委員等が決まりました

武蔵野市議会の4常任委員会・議会運営委員会・議会広報委員会の任期は1年と定められています。6月12日の本会議において、新たな委員が議長より指名され、同日に行われた各委員会で正副委員長が決まりました。新しい委員は次のとおりです。

◎印:委員長 ○印:副委員長

総務委員会

後列左から
橋本しげき
きくち由美子
深沢達也
藪野恵美子
菅源太郎

前列左から
山本ひとみ
◎落合勝利
○東山あきお

文教委員会

後列左から
大野あつ子
三島杉子
下田ひろき

前列左から
さこうもみ
◎蔵野恵美子
○山崎たかし

厚生委員会

後列左から
道場ひでのり
木崎剛
本多夏帆

前列左から
浜田けい子
◎本間まさよ
○菅源太郎

建設委員会

後列左から
西園寺みきこ
小林まさよし
川名ゆうじ

前列左から
深田貴美子
◎与座武
○宮代一利

議会運営委員会

後列左から
東山あきお
橋本しげき
落合勝利
菅源太郎
与座武

前列左から
山本ひとみ
◎川名ゆうじ
○宮代一利

議会広報委員会

後列左から
三島杉子
浜田けい子
道場ひでのり

前列左から
さこうもみ
◎本多夏帆
○きくち由美子

陳情 審議結果

採 択

- 地域生活支援事業における「移動支援事業」及び「日中一時支援事業」の報酬引上げに関する陳情(陳受8第6号)

不 採 択

- 公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情
- 武蔵野市福祉資金貸付条例の運用停止を解除し、資産はあっても資金のない人が在宅で生涯暮らすことができる、ウェルビーイング実現を求める陳情

継 続

- 「中東情勢に伴う石油関連製品の価格高騰・不足等に対する対応」を求める陳情

取 下 げ

- 地域生活支援事業における「移動支援事業」及び「日中一時支援事業」の報酬引上げに関する陳情(陳受8第2号)(※)

(※) は継続審査となっていたものです

陳情文書表はこちら▶



中学生議会の傍聴ができます

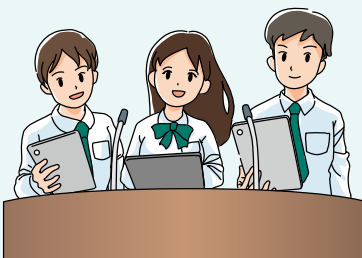
武蔵野市議会では、子どもたちに地方行政や地方議会を理解してもらい、子どもたちの意見を市政などに反映することを目的に、以下の日程で、第3回目となる「中学生議会」を開催します。

当日は市立中学校の生徒が中学生議員としてその内容を発表し、市議会議員が普段とは逆の立場で、中学生の提言に対して回答します。

概要

日 程 令和8年8月16日(日) 午後2時から4時まで
場 所 市役所本会議場(武蔵野市緑町2-2-28)
(※当日の傍聴は、西棟から入り、エレベーターで東棟8階へ)
傍 聴 一般公開

過去の中学生議会についてはこちら▶



会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。



▲会派名簿はこちら

市議会だよりへの御意見、御要望をお聞かせください

☎0422-60-1883 ☎0422-55-7555

✉ofc-gikai@city.musashino.lg.jp

市議会ホームページ<https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>

